

## ほっほっホテル

第52号 平成24年10月15日発行

## 障害者支援施設『ホテルの郷』

〒441-1203

愛知県豊川市足山田町年長1番地6

TEL0533-93-7686 FAX0533-93-7689

## 生活介護事業所『すまいる』

愛知県豊川市足山田町年長1番地21

TEL0533-93-6133 FAX0533-93-6133

## 障害者地域生活支援センター『相談支援事業所』

TEL0533-93-3771 FAX0533-93-3771

共同生活介護事業『ふれんど』『ふれんど2』

## 相談支援体制の充実

ホテルの郷 相談支援事業所 管理者 鈴木 教仁

国は平成24年度より相談支援体制の充実を図るため、相談支援制度の大幅な変更を行いました。目的は、地域で生活する障害者の方への支援体制を充実させるためです。そのために「事業所は、地域で生活する一人の障害者の方への援助を、複数の事業所が協力して援助するとともにその障害者の方に最も合った援助は何かを検討し、援助して下さい」と国は考えているようです。複数の事業所が協力して援助するためには、コーディネーターが必要です。そのため、相談支援事業所の相談支援専門員がコーディネーターの役目を行い、利用者の気持ちや希望に添った形で支援が行われるように各事業所と話し合いながら利用するサービスを決めていきます。

このような支援は平成24年から始まったわけではなく、市町村が相談支援事業所に相談した方がよいと判断した場合はすでにこのような相談支援が行われてきましたが、年に数件程度（豊川市）しか行われてきませんでした。しかし平成24年度からは対象者が大幅に拡大され、通所施設の利用者さんはもちろん、入所施設、ケアホームで生活している利用者さんも全て対象となりました。

具体的には、受給者証の更新時に今までは障害程度区分の認定審査が必要でしたが、これからは障害程度区分の認定審査のほか相談支援事業所が作成するサービス等利用計画書も必要となります。しかし、市町村によってサービス等利用計画の作成をどの相談支援事業者に頼むのか等の対応が異なるようです。ホテルの郷の相談支援事業所でも皆様がお困りにならないよう支援させていただきますので、わからないことや困ったことがありましたらお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。



第5回ふれあいアート展で「愛知県社会福祉協議会会長賞」を受賞したOさんの作品 “家と車”





受賞者あいさつを述べる川口弘施設長



発起人の方々 代表の小林恭子理事長があいさつを

## 川口弘氏愛護福祉賞受賞記念祝賀会

平成24年6月4日に東京都の国際フォーラムにて開催されました財団法人日本知的障害者福祉協会主催の全国知的障害関係施設長等会議におきまして「愛護福祉賞」を受賞しました、本会副理事長兼事務局長であり障害者支援施設ホテルの郷施設長である川口弘の受賞記念祝賀会が、平成24年9月22日に豊橋市のホテル日航豊橋で開催されました。当日は県内外の施設代表や政財界関係者、友人等約110名が出席し、盛大に会が催されました。

祝賀会は、発起人代表で社会福祉法人としなが福祉会理事長の小林恭子より「30数年間に亘り福祉とともに生きその実績が評価され受賞につながった」との賞賛の言葉で始まりました。そして大村秀章愛知県知事、地元選出の鈴木克昌衆議院議員、山脇実豊川市長等より受賞者の業績と人柄を称え労を労うご祝辞を頂戴しました。記念品や花束の贈呈、祝電披露と続き、受賞者あいさつでは「愛護福祉賞を受賞できたのは、一緒に仕事に取り組んでくれた多くの仲間のおかげ」と深く感謝の意を述べられました。

続く懇親会は、日本民謡研究東三河支部てまり会の舞踊にて幕開けし、友人、知人等が次々とお祝いの言葉を贈りました。東京からは、受賞者が日活撮影所で養成所の主任講師を務めていた時の教え子で歌手兼役者の西こうじ氏が歌でお祝いし、二胡サークル niconico による演奏、受賞者地元の渥美願成太鼓の勇壮な熱演が祝賀会に花を添えました。

最後に発起人代表の一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会副会長で社会福祉法人あいち清光会サンフレンド施設長の川崎純夫氏が「今まで努力してこられた業績が、愛護福祉賞受賞という形で結実した。このようにアットホームな祝賀会が開催できたのは皆様のおかげ」との賞賛と謝辞を述べ、祝賀会の幕を閉じました。(鈴木教仁)



公務ご多忙の中お祝いに来てくださった大村秀章県知事



皆で一緒に“乾杯！”



大勢の来賓の皆様



受賞者とご家族、発起人代表に県知事も交えて



# としなが祭

平成24年11月3日(土) 文化の日

午前11時～午後2時15分

ホテルの郷 グランド



- 11:00～11:30 式典  
式典終了後にチケット販売を開始します
- 11:30～14:00 模擬店・バザー・販売
- 11:40～11:50 アトラクション1
- 12:00～12:30 アトラクション2
- 13:00～13:30 アトラクション3
- 14:00～ もち投げ

## 模擬店

- ☆焼きそば ☆団子 ☆焼き鳥 ☆にゅうめん ☆ジュース ☆ゲームコーナー
- ☆うどん (マルシン鮮魚様) ☆からあげ棒 (マルシン鮮魚様)
- ☆カレーライス (カレーハウス Coco 壱番屋様) ☆ドーナツ (ミスタードーナツ様)

## 無料コーナー

- ☆わたがし ☆ポップコーン

## 自主製品販売

- ☆すまいるのパン ☆焼き芋
- ☆スツール ☆さをり織り製品

## 絵画クラブによるアート展

## リサイクルバザー

## アトラクション

- 1 スタジオエイチ♪元気が出るダンスショー
- 2 紅太鼓
- 3 豊川高校吹奏楽部



## もち投げ 午後2時から

### 平成24年度 法人内 表彰状・感謝状贈呈者

下記の方には、日頃の感謝をこめて「としなが祭」式典内にて、表彰状・感謝状を贈呈させていただきます。

- |        |                     |
|--------|---------------------|
| 表彰状授与者 | 小川光男                |
| 感謝状授与者 | 鈴木正男 松倉正枝           |
|        | 愛知県立豊川工業高等学校ボランティア部 |
| 永年勤続職員 | 星野亮                 |

(順不同・敬称略)



雨の合間を縫っての盆踊り こぞとばかりに踊ります

# 納涼まつり ありがとうございました



鈴木克昌衆議院議員

## 雨雲を吹き飛ばして

8月18日、毎年恒例の納涼まつりが開催されました。当日は生憎の天候でしたが、オープニングに山脇実豊川市長から来賓挨拶をいただきその後少し遅れて駆けつけて下さった鈴木克昌衆議院議員にも挨拶をいただきました。そして雨にも負けず、賑やかに盆踊りから始まりです。てまり会様による踊り、夢太鼓様による太鼓の演奏により、利用者さんやお



山脇実豊川市長

客さんと一緒に納涼まつりを盛り上げて下さいました。

利用者さんの最大の楽しみは模擬店です。会場内は、団子や焼きそばのおいしそうな匂いが漂い、踊りそっちのけで口いっぱい頬張っている方もチラホラ。

恒例となっているクライマックスのもち投げ時は雨のため地面の状態も悪く、やむをえず会場を施設内の地域交流センターに移しました。ご来場の皆様には会場の移動でご迷惑をおかけしましたが、利用者さんはじめ地域の皆様、ボランティアさん、保護者の方々もとても楽しんで下さったと思います。

雨の中、大勢の方が来場して下さいました。地域の皆様、ボランティアの皆様、そして納涼まつりにご協力・ご支援下さいました大勢の方々はこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。(柳澤静伸)

“すまいる”のパンの  
売れ行きも好調です



もち投げは室内でしたが  
とても盛り上がりました





ふれあいアート展受賞おめでとう



県社協の小山事務局長から賞状と盾を授与されました

愛知県知的障害児者生活サポート協会主催の「第5回ふれあいアート展」に今年は過去最高の16名の利用者さんが出品し、その中でOさんの描いた「家と車」が見事「愛知県社会福祉協議会会長賞」を受賞しました。このふれあいアート展は今年で5回目を迎え年々出品作品も多くなり作品のレベルも高くなってきています。そんな中、Oさんは連続3回目の受賞となり、審査員の方からも高い評価を受けています。

10月2日、「ふれあいアート展」会場の名古屋電気文化会館にて授賞式が行われ、Oさんを含めた2名の利用者さんと理事長、職員1名で出席しました。授賞式では、賞状を手渡されている時のとても嬉しそうなお姿が印象的でした。

授賞式後は、他のたくさんの出展作品を皆で見ました。どの作品も個性的で素晴らしいものばかりでした。アート展というもの、クラブのメンバーの中でどう育っていくのかとても楽しみです。これからのクラブ活動にもいい意味での刺激になればと支援する立場からしみじみ感じた今回の授賞式でした。(波切ひとみ)



岩崎学園の松下理事長も一緒に記念撮影

防災の日になんで

9月1日の防災の日になんで、9月6日に行われた夜間想定避難訓練日に、訓練の一環として昼食に非常用食品の試食を行いました。

ホテルの郷の利用者さんにはアルファ米の主食と非常食のけんちん汁を、すまいるの利用者さんと全職員には温めて出すレトルトの「白いご飯」と非常食のけんちん汁を提供しました。

非常用食品も以前と比べるとかなり食べやすく、味付けもよくなってきていると思います。

実際に災害が起こった時、どんな状況においても食事の準備ができ、その食事を問題なく食することができるよう、普段と違う状況での試食会を今後行っていきたいと思っています。経験を積むことで有事の際に備えていきたいと、改めて思いました。(梅原和代)



ふれあいアート展 見に行ってきました

10月3日、ふれあいアート展に出品した利用者さんの代表者4名と職員2名で、名古屋電気文化会館へアート展の鑑賞に出かけました。会場に着くと、それぞれが自分の絵をすぐに探し出して「あったよ！ここ！見て！」「ほら〇〇君の絵もあるよ」と教えてくれました。ホテルの郷の利用者さんの今年の作品は昨年の作品よりも絵画クラブの成果が見られ、とても色彩豊かに描かれていました。Dさんは他の施設の作品を鑑賞しながら、「これは上手いなあ、これは上手くないなあ」と批評し、今後の作品の参考にしているようでした。

絵画クラブの活動に更にやる気が出る、そんな機会になったと思います。(鈴木祐子)



名古屋へ来るのも大分慣れ、笑顔が多くなりました

豊橋ゆたか学園の盆踊りに行ってきました

8月4日、豊橋ゆたか学園の盆踊りに、利用者さん2名と職員1名で参加してきました。Uさんは初めての場所ということで、期待に満ちた表情が伺えました。Kさんは少年時代に生活をしてきた場所なので懐かしく思い出深い場所であり、また今回はその時に一緒に生活をしてきた友達との再会が予定されていることもあり、やや緊張気味な様子が伺えました。

到着するとすでにたくさんのお客さんで賑わっていましたが、まず模擬店にて好きなものを購入。そして、Kさんは友人との約束の時間となり感動の再会を果たすことができました。緊張のためかお互い口数はやや少なめなようでしたが、大切な2人の時間を育むことができていたようです。

今回の外出は、懐かしい知人との再会や、ホテルの郷とはひと味違った模擬店を楽しむことができ、充実したひと時となりました。ご招待下さいました豊橋ゆたか学園様、どうもありがとうございました。(守屋彦彦)



右3人はゆたか学園の出身者です



## すまいるニュース



本年度もすでに半年が経ちました。昨年12月に生活介護事業所すまいるとして単独事業所となり、本年度は新たな行事も増やしつつ事業を行ってまいりました。本年度は登録利用者数も24名となり、色々な行事を賑やかに開催しています。6月にはデイキャンプを計画。これは台風の接近に伴いキャンプ場で行う予定を変更し、施設でのバーベキューとなってしまいました。焼肉・焼きそば・ホットドックと盛りだくさんの食事で楽しいひと時を過ごすことができました。来年は晴れることを期待しています。

7、9、10月には誕生日会を開催。9月の誕生日会には産休職員と退職職員のお別れ会も同時開催し、お別れが悲しく涙を流す方もみえました。一日一日が充実した日々を過ごせるように、すまいる職員一同丸となって支援させていただきます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。(川口真史)

### さようなら 橋本美穂さん



お盆ごろから体調を崩され休んでいましたが、8月24日にご自宅で眠るように息を引き取られました。49歳でした。平成21年12月から週4日ご利用され、いつもぬいぐるみを抱いて通所されていた姿が印象的でした。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 法人内初任者研修

8月3日、法人内初任者研修が行われました。“初任者”と聞くとついこの間まで学生だった新社会人を想像しますが、今回研修を受けたほとんどの方たちは、ずっと昔に新社会人であった方たちです。臨時職員として職員の補助的な仕事を行ったり、本人の持っている技能・技術を活かした特別な仕事をしている方たちで、職種は様々です。

研修は、小林恭子理事長より「職員の心得」について、川口弘施設長より「福祉施設の職員はどうあるべきか」について、山崎サービス管理責任者より「障害者虐待防止法」についての説明がありました。かつての新社会人たちの、研修を受ける“熱いまなざし”を感じました。施設職員としては初任者ですが、ずっと世の中を見続けてきた人生の先輩としての経験を利用者さんへの支援に活かすことができたら良いなと強く感じました。(山崎隆行)



“熱いまなざし”で研修に臨みます

### 法人内中級者研修

9月13日、法人内中級者研修が行われました。小林恭子理事長より「自己啓発をはじめとする職員の心得」、鈴木管理者より「相談支援について」、山崎サービス管理責任者より「体罰について」、川口サービス管理責任者より「権利擁護と苦情解決」という内容で、中級職員としての心がけを多く学ばせていただきました。

講義では、体罰についての講義の中の「障害者虐待防止法」の内容が、とても印象的でした。相手の立場に立って常に考え行動しなければいけないという精神を大切にしたいと、強く感じました。今後もこの研修で学んだことを基本の軸として、支援に携わっていきこうと心新たにすることができました。ありがとうございました。(松原宏樹)



研修で学んだことを、即実践に

### 医務室だより

ホテルの郷では、管理医師みやもとクリニック（豊橋市）の宮本先生による療育相談を月に一度行っています。定期健康診断で再検査が必要と指示を受けた利用者さんの相談や、体調不良者の相談等をお願いして助言を頂いております。11月中旬にはインフルエンザの予防接種も予定しておりますが、風邪の流行る季節に向かい、利用者さんの体調管理には十分に注意していききたいと思います。

#### 風邪の予防対策

1. 手洗い
2. うがい
3. マスク

しっかり守って、元気に過ごしましょう。(松尾善子)



ホテルの郷 ホームページ  
随時更新しています。是非、ご覧下さい。

URL <http://www17.plala.or.jp/hotarunosato/>



平成24年7月～9月の行事

<p><b>7月</b></p> <p>2日 定期健康診断 3日 理髪 4日 みやもとクリニック来所 5日 絵画クラブ 9日 理髪奉仕 10日 消防訓練・消火訓練 12日 絵画クラブ 18日 ヨガクラブ 19日 活け花クラブ 舞踊クラブ 20日 絵画クラブ 24日 音楽クラブ 24日 運営会議 26日 絵画クラブ 27日 シンシア歯科診療所訪問診療 7月生まれ誕生日会 支援会議・ケース会議</p>	<p><b>8月</b></p> <p>1日 みやもとクリニック来所 2日 絵画クラブ 3日 法人内初任者研修会 6日 消防訓練 7日 理髪 9日 絵画クラブ 10日 理事会・評議員会 18日 納涼まつり 22日 ヨガクラブ 運営会議 23日 舞踊クラブ 活け花クラブ 24日 絵画クラブ 個別面談1寮 24日 音楽クラブ 個別面談3、6寮 25日 個別面談2、5寮 28日 8月生まれ誕生日会 支援会議・ケース会議 30日 絵画クラブ</p>	<p><b>9月</b></p> <p>4日 理髪 6日 みやもとクリニック来所 消防訓練 非常食試食 絵画クラブ 10日 理髪奉仕 13日 法人内中級者研修会 18日 運営会議 20日 舞踊クラブ 活け花クラブ 絵画クラブ 21日 音楽クラブ 25日 9月生まれ誕生日会 支援会議・ケース会議 27日 シンシア歯科診療所訪問診療 絵画クラブ 28日 消防訓練</p>
--	--	--

ボランティアさん いつもありがとう

(順不同・敬称略)

7月

作品作り 大石千代子 小澤幸代 中室陸子 川本佑子  
 絵画指導 鈴木敏春  
 舞踊指導 大谷みち子 梶村俊子  
 活け花指導 野澤喜美子 稲垣喜美子  
 音楽指導 森田勝昭  
 ヨガ指導 伊藤尚子  
 理髪奉仕 村田安市 西出寿美子 西出弘美 中村晃 宮川喜美夫 辻村重人



8月

作品作り 大石千代子 小澤幸代 中室陸子  
 絵画指導 鈴木敏春  
 活け花指導 野澤喜美子  
 舞踊指導 大谷みち子 渡辺さなえ  
 音楽指導 森田勝昭  
 ヨガ指導 伊藤尚子  
 理髪奉仕 西出寿美子 西出弘美 中村晃 宮川喜美夫 辻村重人  
 納涼まつり (株)琥珀観光 佐々木隆 福田素純 川本佑子 中室陸子 小澤幸子 大石千代子  
 左右田金子 住吉博美 小林幹子 山本かずよ 広浜不二代  
 豊橋善意銀行VHC 15名 合歓の会 10名 いずみの会 5名 ボランティアなかま 4名  
 カイドヘルプあゆみ 5名 名古屋学芸大学 11名 名古屋柳城短期大学 3名  
 慈恵福祉専門学校 2名 愛知県立豊川工業高等学校 6名 豊川市立一宮中学校 12名

9月

作品作り 大石千代子 小澤幸代 川本佑子 中室陸子  
 絵画指導 鈴木敏春  
 活け花指導 野澤喜美子 稲垣喜美子  
 舞踊指導 安藤宣子 堅田愛子  
 音楽指導 森田勝昭  
 理髪奉仕 村田安市 西出寿美子 西出弘美 中村晃 宮川喜美夫 辻村重人

ご寄付 (4月～6月)

高柳正好 (100,000円) 杉原和夫 (10,000円) 橋本美代子 (44,798円)  
 (株)ハカマダ (すいか) (旬)プロシード (使い捨て手袋) 森田勝昭 (菓子)  
 桑名敏昭 (もち米 100kg)

採用職員

6月13日付 支援員補助員 (ホテルの郷) 山本孝志  
 7月18日付 支援員補助員 (ホテルの郷) 小寺祥子



山本孝志



小寺祥子

退職職員

8月31日付 支援員補助員 小柳津敏秋  
 9月30日付 介助員 上村彩未  
 9月30日付 調理員 鈴木秀雄



9月いっぱいまで退職いたしました。最初は慣れないことばかりで不安いっぱいでしたが、職員の皆さんに丁寧に教えていただき、またいろいろと助けていただいたおかげで、楽しく仕事をすることができました。ようやく仕事に慣れてきて、利用者さんたちの力になればと思っていたのにとっても残念です。短い間でしたが、とても良い勉強をさせていただいたことを感謝いたします。ありがとうございました。(上村彩未)



☆としなが福祉後援会ニュース☆

今年度新規にご加入いただいた方、および継続会員で会費を納入していただいた方です。

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

【団体会員】

- 11年会員 (有)くすりの今泉薬局
- 10年会員 (株)オノコム豊川支店 としなが福祉会互助会
- 9年会員 足木米穀店 (株)エルゴット 大高米穀店 米のナイトウ (有)夏目室内工芸 マルカ魚店  
(有)マルト産業 名糖牛乳一宮販売所
- 8年会員 (有)今川建材 (有)カネシメ魚店 ジェイビーホーム(株) (株)山口晃建築設計事務所
- 7年会員 (株)経真
- 6年会員 てまり会
- 5年会員 愛知ヨーク(株)豊橋センター 豊橋建設工業(株)
- 4年会員 ジェイアイシーセントラル(株)
- 3年会員 (有)プロシード (有)吉田塗装店
- 2年会員 (有)マサスケ文具 みやもとクリニック
- 新規会員 (株)イクモ (株)陶山工務店 田代ひ尿器科

【個人会員】

- 12年会員 安達慎一 岩田元 水藤徹尔 杉木隆次郎 小林孝行 野口光世 原やよい 本田靖人 水川猶斗  
荒川靖子 飯田澄男 石黒勲 加藤憲 加藤雅己 加藤友一 金岡俊男 佐々木義明 塩瀬真美  
杉本幸子 田上政吉 筒井敏雄 日比栄 前川婦希子 吉田孝 小林恭子
- 11年会員 小柳津定夫 善入清子 平松新一 加藤未子 鈴木敏之 西出寿美子 宮越照夫
- 10年会員 尾崎恭子 加藤理恵子 高柳正好 小林昭宏 佐々登志夫 三ツ橋甫
- 9年会員 大場守 尾崎重芳 河合光枝 近田正幸 佐宗京子 清水孝子 寺部良雄 淵名衛 村田安市  
浅岡三七
- 8年会員 佐々木隆 左右田金子 正井美代子 淵名峰子 野澤佳央 名川民子
- 7年会員 今泉芳子 春日しずゑ 北岡豊悠球 楠名淳子 高木正久 田中輝幸 谷山浩史 森下茂子  
森田勝昭 小笠原克己 柿田俊幸 都築仁司 松井正己
- 6年会員 天野壯太 小川光男 滝波和敏 芳賀京子 福田素純 松倉正枝 大谷尚武
- 5年会員 杉原和夫 松井規恵 小竹昇一 日比綾子 山脇貴子
- 4年会員 安部ミト子 伊藤洋明 大内隆 住吉博美 寺西まつ子 鳥居千代子 藤田皆子  
日比修治 森東洋子 安井郁子 米山昇 加藤生江 高橋忠由
- 3年会員 河合甫 千賀恒夫 田中明子 宮川明 村川透 山本勇 大川浩 鈴木敏和 高橋三津雄 山脇静雄
- 2年会員 朝倉溢朗 桑名敏昭 廣濱不二代 伊藤辰己 小川陽子 鈴木敬代 渡辺正一
- 新規会員 加藤照和 水藤万美 原司 日比小燕 日比寛子 日比耕太 柳澤武雄 渡会武彦 浅見真由美  
石井孝弘 石井幸代 石井藤子 江口順作 川口忍 川西孝明 柴田正 菅本とし子 吉澤万智子  
(順不同・敬称略)

としなが福祉後援会の会員として多くの方々からご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

平成24年度のとしなが福祉後援会の会員を募集いたしております。後援会の趣旨に賛同されご支援いただける方、平成23年度までの会員の方で引き続き会員になっていただける方は、会費の納入をお願い申し上げます。会費の納入をもちまして、後援会へのご入会とさせていただきます。

また、今年度より個人会員様につきましては、今までの“1口2,000円”に加えまして、“1口3,000円”の年会費も設けましたので、より一層の皆様方のご支援ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

なお、ご入金につきましては、同封の振込用紙をご利用いただければ振込手数料は本会にて負担いたします。

- \* 法人・団体会員 (年会費) 1口 10,000円から
- \* 個人会員 (年会費) 1口 2,000円 および 3,000円

振込先1 豊川信用金庫 一宮支店 普通1237147  
としなが福祉後援会 会長 杉木隆次郎

振込先2 振込振替口座 00830-1-205322  
としなが福祉後援会

連絡先 ホタルの郷 (担当: 田畑珠美)  
豊川市足山田町年長1番地6  
電話 (0533) 93-7686



【編集後記】

10月1日から「障害者虐待防止法」が施行されました。正式名称は“障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律”といい、養護するべき者が虐待という真反対な行為を行うことを防止するための法律です。虐待だと思って行うことはもちろんいけません、無意識のうちに行ってしまうことの中にも虐待だと思われる行為があるかもしれません。障害者を支援・養護する立場にある私たちは、今まで以上に自分自身の行動を常に客観的に見ていく必要を強く感じています。(山口)